



森ボラ 通信

第101号 2010年10月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会
URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F
Tel (fax.): (011)816 - 7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ プロジェクターで現場指導 ニトリ助成事業

札幌工科専門学校の林業演習

ニトリ北海道応援基金助成で装備したプロジェクターが活躍しました。10月5日(火)はあいにくの雨模様でしたが、予定通り学生20名を対象に演習は実施されました。物置が未完成であったことが幸いしてスクリーンを濡らすことなく使用できました。写真画像による学習はイメージが共有されるので効果があがります。演習指導は当会発足以来の恒例行事になりましたが、学生は毎年入れ替わります。1年生は初体験です。

午前中雨の中でKYとラジオ体操の後、主目的のキノコ採集でナラタケケ(ポリポリ)などが結構採れました。同時にミズナラ クリの実も採集できました。

昼には湯澤さんの心づくしの待望のキノコ汁に舌つづみをうってから、午後はパワーポイントスライドで①キノコ編 ②澄川の動物編 ③森ボラ紹介編 を学生に見せました。このプロジェクターセットと木道はニトリの助成事業で榊ニトリホールディングスの広報担当柿崎さんにも中間検査で立ち会っていただきました。

幸い雨も上がり一年生9人は澄川方式の除伐、2年生11人は木道組立をしました。木道は以前の水田跡地に設置していますがエゾサンショウウオが生息していました。ここ右精進川の水域は自主的に保全地帯としておりますが春には木道の上からサンショウウオが見られると思います。(記 酒井)



■ 現場より

◆ 秋「植樹祭」

▼ 道新ぶんぶんの森

10月2日、一般参加 約80名、当協参加者は前日準備11名、当日は棟方さんの植え方指導の後、12名が班を分担し指導のもとにトドマツ苗800本を植えました。天候にも恵まれ子供や愛犬の参加もあり、賑やかかつ和やかに終わりました。(記 高野)



▼オイスカ子供の森



10月3日、オイスカ側参加者37参加名、当協参加者4名。ドドマツ340本、ヤチダモ200本を一般参加者は午前中で植え終わりました。当協4名は居残り作業でトドマツ60本、ケヤマハンノキ200本を担当区域に植えてきました。先年ヤナギを挿し木し、結果は全滅した湿地は、無理な植樹はしないで湿性植物保護区域として逆転の発想で少し掘り下げて水溜りをつくり、自然に任せた水性生物を育成する方が面白いと思うのですが、ご意見をお寄せください。

▼CGCの森

全国CGC環境委員会による植樹祭

10月7日(木)日ごろお忙し中全国CGC環境委員会の皆さん16名が集まりCGCの森で植樹をされましたので報告いたします。

当日は天候にも恵まれ野外活動には最高の日でした。千歳空港からチャーターバスで14時に現地に入り、早速、作業用服装、手袋、長靴に替え4班に分かれて植樹作業開始。今回はNo.10小班にヤチダモ110本を植栽しましたが、皆さん長旅の疲れも見せず童心に返ったように夢中で穴を掘りそして真心を込めて苗木を植えておられました。

皆さんの心はこの木達が大きく育ち生物多様性に貢献出来ることを祈っているようでしたし、クループとして壮大な事業に参画している事に誇りをもたれたのではと思います。

また酒井代表幹事の案内で通称オッパイ山と呼んでいる自力地拵え地区を見てもらい、機械に頼らない手作りの森の未来を分かちました。

最後に入り口の大看板の前で全員が写真に納まり無事植樹作業を終えました。

17名の黄色いヘルメットの会員の皆さんお手伝いお疲れ様でした。

また何時もの様に虎谷常務、谷口部長のご指導に感謝申し上げます。(記、市山)



▼コンサ百年の森

10月10日(日)コンサドーレ百年の森最終年度植樹祭

参加者：協会10名 森林管理署2名 コンサドーレ95名

雨のそば降る中、最終年度の植樹祭が行われました。8班に分かれてH50cmのトドマツ1,970本とH1mのヤチダモ247本の大苗を3.39haに約一時間半で植栽しました。これでコンサドーレ百年の森の3年に亘る植栽は終了ですが我々森ボラはこのあと7年間下刈補植などの保育を続け森林管理署にバトンタッチします。



今年の秋は植栽行事がビッシリ続いてしまい、自主参加が基本のボランティアクラブとしては異例の参加呼びかけをしましたが、ご協力ご参加いただきありがとうございました。(記 酒井)

■ 今月の幹事会

出席者：市山、荻田、酒井、佐野、高野、津金、釣井、矢澤、山中、和田

審議および決議事項

- 1 前期活動報告・中間決算⇒[理事会資料](#)
- 2 11月スケジュール 微調整⇒[確認](#)
- 3 道民森づくりの集い2010 対応チーム⇒[市山、酒井、高野、津金、釣井](#)
- 4 リンゴ園進捗状況確認⇒10月下旬作業日2日不要
- 5 澄川進捗状況⇒[物置および木道を優先完成させる](#)
- 6 冬季学習会12月分の案⇒[北大森本先生に依頼](#)
- 7 第二回理事会開催⇒11月16日16時よりアークス本社にて
- 8 活動交通費前期分の確認と支払い⇒15日より現場にて支払い開始
- 9 助成金申請⇒[日本河川協会他蜜に対応する](#)
- 10 その他⇒[支笏湖CGCの森でエゾシカ食害予防のテグス張りを実施する。](#)

■ お知らせ

◆ 新入会員：深町宏美

◆ 前期入林交通費補填支払いを始めています

出来るだけ作業現場で手渡ししています。振込み手数料がバカにならないので経費削減にご協力ください。

◆ 道民森づくり2010の展示をやります。

10月23日(土)赤レンガ道庁前広場にて、当協会の活動場面写真展示をいたします。場所は正門を入ってすぐの右側テント2番目です。他のボランティア仲間の展示が楽しみです。ついでといわずに是非ご覧ください。

◆ 杉本茂さん叙勲祝賀会を協会主催ではなく、有志の発起により以下のように行います。

日時：11月24日 13時より 場所：JRタワーホテル 会費：1万円

参加申し込み：酒井(080-1893-0748)まで

◆ 第二回理事会を開催します

日時：11月16日 16時～16時45分 場所：アークス本社会議室

◆ 2010年度忘年会

恒例の忘年会が決まりました。一年の活動の疲れを癒し、来年の活力を養いましょう。こぞりでの参加を期待します。

日時：2010年12月14日、15日

場所：朝里川温泉マリンヒルホテル

集合場所：地下鉄宮の沢駅(送迎バスに乗る)

会費：1万円(予定)

■ 活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
10月19日(火)	澄川	12名	物置製作
10月15日(金)	澄川	15名	物置製作
10月12日(火)	幹事会	9名	
10月10日(日)	支笏湖コンサ百年の森	10名	植樹祭
10月8日(金)	支笏湖CGC	14名	植樹祭
10月7日(木)	支笏湖CGC	17名	マーキング、補植
10月5日(火)	澄川	11名	札幌工科学学生演習、木道
10月3日(日)	当別オイスカの森	4名	植樹祭、植苗
10月2日(土)	支笏湖ぶんぶんの森	12名	植樹祭
10月1日(金)	支笏湖ぶんぶんの森	9名	マーキング等準備
9月30日(木)	オイスカ当別	6名	草刈、マーキング
9月28日(火)	澄川	14名	物置製作他
9月21日(火)	澄川	15名	物置製作他

リンゴ園：9/15⑧ 16⑨ 22⑥ 25⑦ 27⑦ 29⑧ 10/6⑧ 9⑤ 14⑧ 16②

■ ひとこま

▼キンエノコロ

イネ科の植物で8月から9月にかけて穂をつける草である。子供の頃、道路脇など何処にでも生えている草で、この穂を千切り取り、手のひらに乗せて毛虫だと遊んでいたことを思い出す。穂を手に乗せて握り締めると、剛毛に押されて横に少し動く、また握るとまた少し動くことで、「ほら、毛虫が動いた!」と友達に見せて楽しんだものである。しかし、キンエノコロの名前を知ったのは中学生の頃であった。言葉の響きと良い命名に遊び心が感じられて、忘れられない草の名前となった。

時は過ぎ青年期、写真雑誌を何気なくめくっていると、モノクロでキンエノコロを逆光で撮った写真が飛び込んできた。題名はずばり「キンエノコロ」である。ショックであった。ただの草が逆光によって輝く剛毛は、まさにその名の通り金色に見えたのである。それがカラーでなくモノクロだからこそ強調されることを、この写真に教えられたという思いだった。何時かは、こんな写真を撮ってみたいものだ、ずっと思いながら今も忘れていない。

最近は見かけられなくなり、どこに生えているか捜していたら案外近くにキンエノコロ見つけた。

国道など頻繁に草刈をするところは見当たらないが、皮肉なことに、あまり手入れのされていない道路脇に群生していた。道路脇は身近にある自然の植物の宝庫であり、野生の花で季節を教えられる。道路の草刈は掃除の行き届いた人口的美しさはあるが、それより大切なものは自然の美しさではないだろうか。(記 虎谷利一)

